

江別市民芸術
文化功労賞



西川 勉氏
(江別混声合唱団)

【略歴等】昭和四十六年より江別市の合唱団に所属し、四十五年間にわたり熱心に合唱に取り組み、現在所属の江別混声合唱団では副代表・代表を計十八年間務めた。

また、合唱ブロックでは事務局・会計を務め、「江別合唱の輪」「市民合唱祭」の開催に指導的な役割を果たし、江別市の合唱に多大な貢献をした。

江別市民芸術
文化奨励賞



花柳 喜泉二郎氏
(花柳流喜泉二期会 会主)

【略歴等】平成十八年の江別市文化協会加盟より、今日まで多数の日本舞踊愛好者への舞踊の指導・普及に尽力。市民文化祭の「邦楽・邦舞大会」に毎年参加、江別市・土佐市交流文化祭にも参加協力してきた。江別市・札幌市の教室合同舞踊発表会を毎年開催し、その益金より江別市文化協会の振興基金に多額の寄付をされ、協会に貢献してきた。また、江別福祉センター行事に毎年参加する等、地域福祉交流にも多大な貢献をしている。

江別市民芸術
文化奨励賞



花柳 紀二郎氏
(花柳流紀二郎会 会主)

【略歴等】平成十八年より江別市文化協会に加盟、日本舞踊の指導・普及に尽力。日舞プロック代表として江別市民文化祭「邦楽・邦舞大会」の企画・運営を行い現在に至る。

江別市・土佐市文化交流祭にも参加協力、石狩管内郷土芸術祭にも文化協会舞台部門を代表して出席した。

また、江別市教育委員会へべつ上曜広場では小学生への日本舞踊の体験指導に尽力、自治会行事や施設訪問など舞踊の普及発展に多大な貢献をしている。

江別市民芸術
文化奨励賞



石川 芳昭氏
(江別子ども劇場 顧問)

【略歴等】昭和五十二年小学校教諭として勤務する傍ら、発足間もない江別子ども劇場の会員として運営や相談役として活動し、平成五年より顧問として関わり、四十年以上子ども劇場の活動を支えて現在に至る。江別子どもまつり」の事務局長と

して三十七年間にわたり子供達に遊びの場を作り続けてきた。その他、舞台芸術作品の鑑賞、スキー学習やキャンプ等を通じて子どもを育成する活動を行ってきた事は、表彰に値する顕著な功績があると認められる。

第四十二回江別子ども文化祭

令和二年十月十五日 へほあふる

出演団体は①「江別児童合唱団」②「江別子ども演劇クラブ」(江別子ども劇場)③「北海道中国武術倶楽部」④「江別ジュニアオーケストラ」⑤「ふぞろいな輪ごたち」⑥「文京台一輪車クラブ」。

コロナ禍での開催でしたが、実行委員と様々な対策を考え、協力し、安全で楽しい文化祭を目指しました。対策は高齢者クラブの出演見送り、フィナーレ・パザール・パネル展示の中止、客席を隔離して完全前売り指定席券のみの販売、受付での検温、マスク着用&手指の消毒確認、ホールへの入口指定など実行委員会で話し合

い確認をコロナに負けない文化祭にしました。無事に開催できた事、そして子ども達一人一人の溢れる笑顔と頑張りが見られたことは本当に嬉しいことでした。

(出演者百二十名 入場者百八十五名) 記・実行委員長 川守田



洋舞・演劇フェスティバル

令和二年十月三日 市民会館

〈コロナ禍での開催〉

二〇二〇年十一月三日、江別市民会館にて「洋舞・演劇フェスティバル2020」を開催しました。今年から、「総合芸術フェスティバル」がなくなった関係もあり、初めて洋舞ブロッ

ク・演劇ブロック合同でのステージとなりました。新型コロナウイルスの影響を考慮し、この発表会自体を実施するか中止するか春から協議を重ねてきました。悩んでも悩んでも結論はなかなか出ませんでした。が「文

「化の灯を消してはならない」という信念のもと開催することを決めました。

もちろん賛否両論がありましたが、やるからには感染防止対策をしっかりしなくてはなりません。出演辞退も多く、参加団体は例年の半分以下、そして客席も半分となり全席指定でのチケット販売にするなど準備にはかなりの時間を費やしました。

マスク着用でのリハーサル、消毒の徹底、会話の禁止、控え

室へのご家族等の入室制限、花束・プレゼントお断りなど出演者の皆さんへのご負担や影響はかなりのものだったと思います。演日の間には休憩時間を設け、お客様の入れ替えができるようにしたり会場内の換気をするなどいつものようなテンポの良い進行とはいきません。

ご来場くださったお客様には入場時の検温、消毒、マスク着用、連絡先のご記入、声援の禁止など様々な感染防止対策にご協力いただきました。この場をお借りしまして心よりお礼申し上げます。たくさんさんの苦難を乗り越えてのステージはとても素敵なものとなりました。仲間とともに練習すること、その成果を発表して観ていただくこと、同じ時間を共有し感動する心、これまで当たり前のように存在していた全てのことについてあらためてありがたみを感じることができました。これもひとえに多くの祈

ご来場くださったお



様の支えがあってこそだと思っております。

今までの以上の感謝の気持ちと初心を忘れずに、さらに成長した姿でまた次回たくさんさんの仲間とたくさんのお客様にお会いできることを祈りながら日々の練習に励んで参ります。日も早く、思う存分ステージに立つことができるとは、さらには笑顔が戻ってきますように。

洋舞ブロック代表 坂井 亮治
出演団体 ①スポーツクラブブリック ②ビジュ・バレエコンチエルト ③つるうる亭 ④ハイビスカス・フラサークル ⑤ブリックキッズチアダンス

市民菊花展

令和二年十一月三日～五日 / コミュニティセンター

新型コロナウイルス感染症対策で今までの菊作り初心者講習会、及び会員研修会等の活動が一切できない状態が続いた令和二年度でしたが、会員個々人の今までの経験と努力で数多くの菊花を育てることが出来ていました。市民文化祭の展示が例年通り、市コミュニティセンターで開催されることが決まり、コロナ対策を徹底される中、大菊、



小菊、懸崖等を展示することが出来、審査は見送られました。多くの市民の方々に越えたい活動はできないかもしれませんが、今年度も例年通りながら、苗から育てる過程を楽しみつつ秋の菊花展を口指します。市民の皆様、菊花にご興味をお持ちの方は何なりとお問い合わせください。

江別市菊友会 堀込 廣市

市民華道展

令和二年十一月三日～五日 中央公民館

コロナ禍の中、制限の多い開催となりました。例年より少ない華道展の参加者でしたが、本年度は初めて学生コーナーに大森高等学校の華道部員、名が参加し、文字通り花を副えてくれました。見学者も少なくかなり寂しい会場でしたが、一年間の区切りとして晴れがましい時間でした。



江別市民美術展実行委員会

絵描き市民の多くの賛同を得て今年度は六十八名、九十七点の出展でした。作品は油彩画四十五点、水彩画二十九点が七十六%を占め、簡便性と高齢化のため水彩画が年々多くなる傾向にあります。どの作品も自由で魅力的で画風も様々であり、その中から次の方々が表彰されました。(表彰式は今回は中止)

▽江別市民美術展賞 岡村祐子「初雪の朝」油彩F120
▽江別文化協会理事長賞 久山和子「貴婦人と呼ばれる白樺のある



風景」油彩F30
▽江別市長賞 田村道子「草原の花嫁」油彩F30
▽江別市教育委員会教育長賞 野村則子「千古園にて」水彩F30
▽諏訪田賞 松淵耐子「水辺の風景」水彩F40
▽江別美術協会協会長賞 長谷川易夫「とんび」版画P12
▽奨励

市民書道展

令和二年十月三日、五日 野幌公民館大ホール

主管 江別書人集団

「二〇二〇 コロナに負けな文化祭」。まさにコロナ禍に悩まされての文化祭でしたが、いつにない時間差の作品搬入等にも協力をいただきながら、苦道展を続けられたことには感謝

賞 石井慶子「小春日和」水彩F40
▽小品奨励賞(五点) 二本柳良子「二七〇連山」水彩F10
▽沼田邦夫「置き去りの牧草」水彩F10
▽西孝明「初秋のS川」水彩F6
▽保科美智子「潮の香り」油彩P6
▽庄司和子「ほおずき」パステルF4
受け付けから展示まで、開催及び審査に当たった実行委員は三十名、コロナ禍において障害は非常に高かったものの、出展者は昨年比十一名減、観覧者は五十人増の千二十四人と予想を上回り、実行委員として開催して良かったとの充実感と安堵感で終えることができました。出展者にとっても来年に向け、制作の意欲は強く繋がったことでしょう。
(実行委員長 砂山 信二)

場は一寸広めに感じる密回避の状況にはなりましたが感想はいかがだったでしょうか?

「ご観覧をいただいた二百名超のみなさん、お手伝いいただいた方々、そして出品者の皆さんありがとうございました。今後ともお褒めなくご健勝にてお過ごしください。健康を願うと共に、書道を愛される方には是非とも興味を持っていただき、江別の書道文化が共に育まれ、「心豊かな暮らし」の一助として広がりがあればと切望する次第です。
江別書人集団事務局長 山田 静山

お茶を楽しむ会

令和二年十月三日 大森公民館和室



私たち、大森お茶を楽しむ会がこの生活文化部門を担当して二年目になりましたが、コロナ禍でも、関係者の方々のお力添えでどうにか務めることができました。お客様は多少減ったのですが、楽しく会話をたのしみお席を喜んでいただけたいです。今後ともよろしくお願いたします。

(来場者六〇人、会員一〇人)
記 同会代表 石田 武史

